

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 8 月 4 日 (2011.8.4)

【公表番号】特表 2010-532466 (P2010-532466A)

【公表日】平成 22 年 10 月 7 日 (2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報 2010-040

【出願番号】特願 2010-513383 (P2010-513383)

【国際特許分類】

G 0 1 B 11/00 (2006.01)

D 0 4 H 1/72 (2006.01)

G 0 1 B 7/00 (2006.01)

G 0 1 B 21/32 (2006.01)

G 0 1 D 5/36 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 11/00 A

D 0 4 H 1/72 B

G 0 1 B 7/00 1 0 1 M

G 0 1 B 21/32

G 0 1 D 5/36 C

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ウェブの変位を表示するための方法であって、
複数の別個の目盛り構造が配置された細長い可撓性のウェブを移動させる工程と、
前記目盛り構造を使用してエネルギーを変調する工程と、
変調されたエネルギーを、連続的なウェブの変位を示す信号に変換する工程と、を含む方法。

【請求項 2】

前記目盛り構造が、光学的な目盛り構造を備え、
前記エネルギーを変調する工程が、前記光学的な目盛り構造を使用して光を変調する工程を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記ウェブが、透明なウェブを含み、
前記光を変調する工程が、前記光の一部を、前記透明なウェブを透過させることを含み、
透過させた光に基づいて前記ウェブの変位を決定する工程を更に含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

ウェブの変位を表示するためのシステムであって、
一体的な目盛りが配置された細長い可撓性のウェブであって、前記目盛りが、前記ウェブに向けられたエネルギーを変調するように構成された複数の別個の目盛り構造を備える、ウェブと、

前記目盛り構造によって変調されたエネルギーを検知し、さらに前記変調されたエネルギーに基づいて連続的なウェブの変位を示す信号を生成するように構成された変換器と、前記ウェブと前記変換器とが相対移動するように構成された移送機構と、を備えるシステム。

【請求項 5】

一体的な目盛りを有する可撓性の細長いウェブを備える装置であって、前記目盛りが、前記ウェブ上に配置されかつ前記ウェブに向けられたエネルギーを変調するように構成された目盛り構造のパターンを備え、変調されたエネルギーが、前記ウェブの連続的な変位を示す、装置。

【請求項 6】

前記ウェブ上に配置されたウェブ構造のパターンを更に備える、請求項 5 に記載の装置。

【請求項 7】

前記目盛り構造がプリズムを備え、
前記エネルギーが光を含む、請求項 5 に記載の装置。